

中津川市地域医療実習 感想文

琉球 大学 2 年生

今回、中津川医療実習に参加させていただきありがとうございました。

私は今年度の夏に沖縄の離島、久米島で医療実習を行いました。その時初めて地域医療の現場を見学し、他の地域ではどのような医療が行われているのか気になったため今回の実習への参加を決意しました。

一日目、中津川へ着いた私は高い山や畑、伝統的な日本家屋の景色に驚きと感動を覚ええました。一度も沖縄以外で生活したことのない私にはどれも新鮮で、これからの五日間の研修が楽しみになりました。オリエンテーションが終わった後、阿木診療所で診察の見学を行いました。診察の見学は以前に何度か行ったことがありますが、伴先生はどの先生よりも熱心に教えてくださり、とても勉強になりました。また、1人の患者さんに約20分ほどかけて診察をしていて、丁寧に問診をしていたのが印象に残っています。

2日目は発達支援センターつくしんぼで研修を行いました。私は研修前まで発達支援センターのことをあまりよくわからなかったのですが、今回の研修を通して、発達支援センターに対する理解度を上げることができました。様々な障害や疾患を抱える子どもたちが健やかに成長していけるように様々な工夫を凝らしていました。特に、子どもたちが楽しく学んでいけるようにサポートしていたのが印象に残っています。また、本人だけでなく、その保護者の方、理学療法士、保育士ともしっかり連携をとっていて、その子の成長をみんなで見守れる点が良いと感じました。

3日目は地域包括センターのシクラメンで高齢者施設の見学や、地域包括ケアについての学習、また、介護者の集いへ参加しました。今まで介護施設での見学を行ったことがなく、また、介護やそれに関わる制度や法律について学習したことがなかったので今回深く学ぶことができよかったです。今後、医師として働いていく中でこのような知識を身につけることは患者さんやその家族へのサポートの面で重要になってくると思います。介護者の集いでは、介護を行う人が実際に感じている苦勞を聞くことができました。1人で抱え込まずにみんなで思いを共有することで、少しでも辛さが和らいで欲しいと思います。その後、私は高齢支援課訪問指導に参加させていただきました。身体的に介助が必要な人を自宅まで訪問し、定期的に様子を見ているそうです。この訪問のおかげで地域の介助が必要な人をしっかりと見守ることができていると思いました。

4日目は午前には蛭川診療所で診察の見学を行い、午後は櫛間先生が運営している就労支援、パーソナルドアの見学をしました。就労支援の見学はこれまで行ったことがな

かったので新しく知ることが多く新鮮でした。就労支援を設立、経営するには様々な苦勞があることがわかりました。また、様々な障害を抱えている人が働けるような環境づくりをしていて就労支援の存在の大きさを感じました。その後、市内研修で馬籠宿を散策しました。雰囲気がよく、様々な買い物や飲食を楽しむことができたので、また訪れてみたいと思います。

5日目は阿木診療所で二度目の見学を行いました。一日目に教えてもらった本や動画を使ってさらに学習を進め、それらのアウトプットができたのでよかったです。

今回の研修では地域医療について詳しく学び、沖縄との文化の違いを肌で感じる事ができました。また医療はもちろん、それに関係する保健、介護、福祉について様々な体験を通して学ぶことができ、有意義な研修を受けることができました。短い期間でしたが研修を支えてくださった鈴木さん、小川さん、その他研修をしてくださった皆さん、誠にありがとうございました。今回の研修で学んだことを活かしてこれからも勉学に励みたいと思います。|